

令和5年度庄内町振興審議会分科会（産業建設分科会）【会議録】

日 時：令和6年3月18日(月) 午後6時～午後8時15分

場 所：庄内町役場B棟2F会議室4

出席者：吉田勝紀委員、渡會正委員
(事務局) 加藤主任

欠席者：斎藤克行委員、金子尚毅委員

1 開 会 18:00

2 協 議

(1) 意見書確認と集約

事務局：資料の内容について説明

①第2次総合計画後期基本計画ベンチマーク（施策指標）進捗一覧

【委員】第3章3-3上・下水道施策、3-4ガス施策について、経年塩ビ配管残存延長については、概ね計画通り進捗しているが、近年は地震や災害が多く、上・下水道、ガス管の耐震化を急ぐべきではないか。個人資産の改良のため自己負担を求められることに理解が得られず、なかなか進まないことは理解するが、災害対策という意味では、目標達成に引き続き務めてほしい。

【事務局】個人負担の軽減の手立てとして、水道メーター周りの工事費を一部町で負担する制度やリフォーム支援事業の中でも補助対象となっている。

【委員】町の手立てについて、もう少しアピールも必要なのでは。積極的な周知をお願いしたい。

【委員】Eランクが続いて実現不可能に近いのであれば、そもそも目標値が適正なのかという問題もあるのではないかと。無理難題の目標を掲げて毎年達成できませんということではよくないと思うが、まずは、引き続き目標達成に励んでほしい。

【委員】3-6消防・防災について、老朽空き家戸数ということで、平成31年時点で323戸だが、今実際に何戸程度あるのか、調査しているということだが、担当課の回答では分からない。その当時危険空き家21戸と出ているが、そこからどう推移したか。危険空き家の数をしっかり把握して、速やかな対応をしてもらいたい。危険空き家のマップがあればいいと思う。管理する人もいないような状況になってくると、獣が出入りするようになり、近隣にも影響が出る。

【委員】3-8雪対策について、道路の除排雪体制を充実させ、住民満足度の向上に努めること。除雪従事者の確保のため、集落や事業者との協議を進めること。西川町では、建設会社と協定を結び、人員の確保をしている。積雪が少ないと、除雪従事者がほかの仕事をしていたり、事業者に至っては除雪機械の維持費に苦慮することとなる。いざ雪降ったときに除雪する人はいないということがないように、確保対策を図ってほしい。

【事務局】施策指標としては、生活道路除雪事業参画集落数としていることから、集落による生活道路の除雪への協力をいただくものとなっている。町としては補助金を整備し、協力をお願いしている形になっている。

【委員】第4章4-1農林水産業について、販売額は園芸作物の生産量減少の影響で若干減少になっている。また、就農者の高齢化が進んでおり、今後の農業の在り方を早急にまとめ、農地の有効活用を含め検討を図る必要がある。

【委員】感覚的に7割方が70歳以上で、後継者もなく一暮らしや2人、3人暮らしというのが多い。当然このような格好になってくると、農地の集積にも関連するが、集積は進んでいるとはいえ、隣接しても所属する農協がちがっていると手続きが大変なことも課題である。

【委員】農業大学校などを経て就農している人は少ない。専門的な勉強をして、戻ってくる形で就農してくれるとありがたい。町として、今後の農業に関するビジョン、ロードマップを示してほ

しいと感じる。現場だけでは、解決できない。農協2つ、それから農業委員会、土地改良区、議会の5団体で毎年当を番決めて、連絡協議会をしていたが、コロナで開催がなくなっていた。農業委員会を活性化して、計画策定と推進を図ってほしい。

【委員】家庭や学校給食における食育の充実と念頭に、いろいろ取り組んでいるとは思いますが、今後も地場製品の消費拡大に努め、またその周知に努めてほしい。食育を考えたときに、ただ食べるだけじゃなくて、作っている現場を見学することなどで、最終的には担い手の方までつながるのではと感じている。ただ、情報発信にも努めてほしい。

【委員】4-2 商工業・新産業について、起業家応援補助金採択件数ということで、今年度実績が2件となっているが、庄内町で何か商売をやってみたいって人たちを応援してあげることがないと、誰も応援してくれないのは、寂しい。まずは商工会と協力して、外部講師のセミナーなど開催してはどうか。今、大学の方では、過去に何度か流行ったのだが、起業家育成のプログラムが、動いています。以前は不景気で、就職先がないから起業という雰囲気だったが、最近はまだ違う意味でのプログラムである。また、例えば今流の起業のほか、ユーチューバーから起業する形もある。ふるさとCMで、庄内総合高校生が頑張ってくれた。何かノウハウを若い人たちに教えて、ユーチューバーから会社を起こすなど、柔軟な起業を応援してほしい。町内の事業所数、従業者数については、従業員が何人で給料はいくら払っていて、時間外労働がいくらかなど、統計情報をうまく入手して、活用してほしい。

【事務局】町のHPには、「庄内町の統計」を毎年度掲載している。そのほか、統計局のe-stat（政府統計の総合窓口）やRESAS（地域経済分析システム）など統計情報を入手できるサイトがある。

【委員】4-3 観光について、宿泊施設が少ないとの意見が出ているが、担当課からは回答がでていいる。インバウンドが伸びてきていることから、砂金掘り体験もあるようだが、体験型観光の企画やオートキャンプ場を道の駅に併設するなど、気軽に宿泊できる施設の整備も必要かと考える。6次産業については、起業を応援するものなので、指標の設定を金額ではなく、人数にするべきではないかとの意見が出ているが、こちらは次期計画策定に際し、検討してもらいたい。

【委員】4-4 雇用対策について、学生向けの就職ガイダンスの開催時期が遅いと感じる。開催する頃には、ほぼ就職が決まっている。早期開催を検討してもらいたい。

【委員】5-3 道路・公共交通について、ベンチマークとして、町道改良率、町道改良率というのは、道路の舗装や修繕のことと理解するが、こちらはAランクなので、順調と思われる。委員からは、高速道路もつながっていきなく、新幹線も通っていないので交通が不便との意見もあるが、庄内地域全体に目を向けてしまうと、少し範囲が広いので、庄内町として考えると、高速道路の工事は進んでいるものかと考える。新幹線、少し難しい気がする。

②まち・ひと・しごと創生総合戦略

【委員】道の駅については、これまでJAFとの連携を提案してきたが、まずは目玉となる商品販売が必要ではないか。それを求めて行列ができるような。また、地域の特色があるイベントの開催をしてもよいのではいか。当たり前の施設でなく、魅力的な施設の創造が必要である。勢いのある観光交流拠点づくりについて、SNSのアクセス数は分散され、ホームページについては目標値に達成していないということだが、FacebookやInstagramなどの異なるメディアで発信するか、一部予告的な記事を載せて観光ホームページへのアクセスを誘導などの工夫が必要。現状のままではアクセス数は伸びないのでは。Facebookとインスタのいいね、通知目標達成率がすでに100%を超え定着しつつあるが、評価目標としてこれでいいのか検討されたい。また、PR方法については、FacebookもInstagramもありますが、イベントでチラシを配布するなど、外向けに、出向いて発信することも大切かと思う。

③ 過疎地域持続的発展計画

【委員】5年を待たずして、立川沢地域の水田耕作が激減するのではないかと懸念されている。機械の大型化だけでは対応できない部分はICTやリモコンによる先進対応技術の導入が必要ではないか。町では、農業本気やる気プロジェクト支援事業補助金があるようなので、活用を促してい

ってほしい。どんな業種もそうだが、後継者不足が深刻である。

【委員】国の農政がコロコロコロコロ変わり、以前であれば、ヘリコプターで散布していたが、ドローンでの散布が多くなっている。今は国からは、無人ヘリの補助金がでない。

【委員】新たな企業の立地促進について、本当に必要か疑問との意見もあった。人手不足が深刻であり、企業誘致の狙いは、新たな雇用や税収の確保など地域経済の活性化に資するもので、魅力ある職場の創出により新卒者の地元定着やUIJターンの選択肢になるとの担当課からの回答だが、庄内町の工業団地は、必要な敷地がうまく取れないような状況になっているような話も聞く。その敷地規模に合わせた会社があれば、いいのだろうが。

【委員】優先順位につけていただいて、いくつか絞り込んで、まとめたが。考え方としては、評価ランクがいいものについては、順調に進んでいるものとして、まとめていきたい。一つ目、上下・水道、ガスについては、いずれも自己負担はあるが、災害対策として、目標達成を図られたい。二つ目、老朽空き家対策についても、二次災害等の危険性からも件数の推移を把握し、速やかに対応してほしい。三つ目、農林水産業のなかでで例の農業5団体連絡協議会の活性化により、農業の課題解決に努めてほしい。四つ目、商工業・新産業では、統計情報を使った事業所等の状況を把握が必要。起業家支援の充実について、五つ目は観光で体験型観光と宿泊は交流人口を増やす重要なテーマと考えるため、その企画に努められたい。

次に第2期まち・ひと・しごとについては、やっぱり道の駅についてではないか。が交流の拠点、観光交流の拠点になるので、平均的な当たり前の施設ではなくて、魅力的な施設、当たり前施設じゃなくて魅力的施設の創造に努めていただき、集客を図っていただきたい。過疎計画については、昨年同様で。

(2) その他

3 その他

(1) 今後のスケジュールについて

事務局：答申書（案）の確認と第2回全体会について説明

(2) 庄内町振興審議会委員について

4 閉会 20:15